

(54) SEALING OF BAG

(11) 6-183448 (A) (43) 5.7.1994 (19) JP

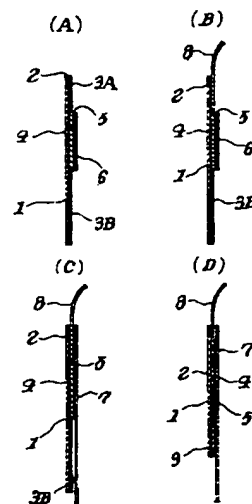
(21) Appl. No. 4-344072 (22) 24.12.1992

(71) KANJI NOGUCHI (72) KANJI NOGUCHI

(51) Int. Cl⁵. B65D27/28, B43M5/02, B65D33/24

PURPOSE: To realize a sealing which can seal and unseal a lid of a bag repeatedly.

CONSTITUTION: A permanent adhesive 2 is fixed on one surface of a first sealing sheet 1 and a releasing paper 3A and 3B is attached to respective end surface of the first sealing sheet 1 excluding the central part, on which one surface of a second sealing sheet 4 is mounted unpeelably. A peeling adhesive 5 is fixed to the other surface of the second sealing sheet 4. By using a sealing sheet additionally attached with another releasing paper 6, one end surface of the first sealing sheet 1, whose releasing paper 3A, for example, has been peeled off, is fixed unpeelably through the permanent adhesive 2 on a lid 8 of a bag 7. On the other hand, the other surface of the second sealing sheet 4, from which the releasing paper 6 has been peeled off, is attached unpeelably to the releasing paper 5, and then, an end part of the first sealing sheet 1 is folded inwardly and attached with the permanent adhesive 2 to form a handle 9.



THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-183448

(43)公開日 平成6年(1994)7月5日

| (51)Int.Cl. ⁵ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|--------------------------|------|---------|-----|--------|
| B 6 5 D 27/28 | | 9146-3E | | |
| B 4 3 M 5/02 | | 9212-2C | | |
| B 6 5 D 33/24 | | 6916-3E | | |

審査請求 未請求 請求項の数2(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-344072
(22)出願日 平成4年(1992)12月24日

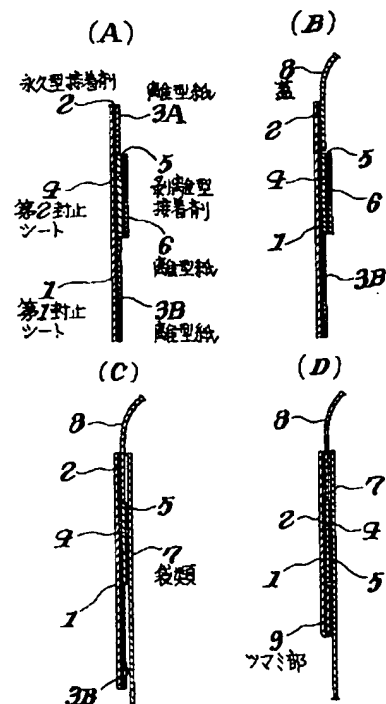
(71)出願人 000245254
野口 完二
東京都大田区池上7-16-4
(72)発明者 野口 完二
東京都大田区池上7-16-4
(74)代理人 弁理士 石戸 元

(54)【発明の名称】 袋類の封止方法

(57)【要約】

【目的】 袋類の蓋を再開放、再封止できる封止方法を提供する。

【構成】 第1封止シート1の一面に永久型接着剤2を固着し、その中央部を除く両端面に離型紙3A、3Bを付着し、同中央部には第2封止シート4の一面を剥離不能に取着し、第2封止シート4の他面に剥離型接着剤5を固着し、これに離型紙6を付着してなる封止シートを使用し、袋類7の蓋8に、一方の離型紙3Aを剥がして第1封止シート1の一端部を永久型接着剤2で剥離不能に固着し、袋類7に、離型紙6を剥がして第2封止シート4の他面を剥離型接着剤5で剥離可能に添着し、第1封止シート1の端部を内側に折返し永久型接着剤2で添着してツマミ部9とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1封止シート(1)の一面に永久型接着剤(2)又は粘着剤を固着し、その中央部を除く両端面に離型紙(3A, 3B)を付着し、同中央部には第2封止シート(4)の一面を剥離不能に取着し、第2封止シート(4)の他面に剥離型接着剤(5)又は粘着剤を固着し、これに離型紙(6)を付着してなる封止シートを使用し、袋類(7)の蓋(8)に、一方の離型紙(3A)を剥がして第1封止シート(1)の一端面を永久型接着剤(2)又は粘着剤で剥離不能に固着し、袋類(7)に、離型紙(6)を剥がして第2封止シート(4)の他面を剥離型接着剤(5)又は粘着剤で剥離可能に添着し、第1封止シート(1)の端部を非接着のツマミ部(9)とすることを特徴とする袋類の封止方法。

【請求項2】 ツマミ部(9)は第1封止シート(1)の端部を内側に折返し永久型接着剤(2)又は粘着剤で添着してなる請求項1の袋類の封止方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、封筒、袋、その他の蓋付きの紙、合成樹脂又は合成シートよりなる袋、或いはケース(以下袋類という)の封止方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種の封筒、蓋付き袋等は、蓋部分に折り目を付けて該蓋部分の内側に糊付けするか、セロテープ、接着又は貼着テープにより剥離不能に固着している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来例にあっては、開封時、鋏或いはナイフで蓋部分を切り、開封しているため、再封止する必要がある場合、セロテープ等を用いて開口を封止する必要がある、簡便性に欠けるという課題がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明方法は、上記の課題を解決するため、第1封止シート1の一面に永久型接着剤2又は粘着剤を固着し、その中央部を除く両端面に離型紙3A, 3Bを付着し、同中央部には第2封止シート4の一面を剥離不能に取着し、第2封止シート4の他面に剥離型接着剤5又は粘着剤を固着し、これに離型紙6を付着してなる封止シートを使用し、袋類7の蓋8に、一方の離型紙3Aを剥がして第1封止シート1の一端面を永久型接着剤2又は粘着剤で剥離不能に固着し、袋類7に、離型紙6を剥がして第2封止シート4の他面を剥離型接着剤5又は粘着剤で剥離可能に添着し、第1封止シート1の端部を内側に折返し永久型接着剤2又は粘着剤で添着してツマミ部9とする。

【0005】

【作用】本発明方法は上記のような構成であるから、ツマミ部9を引っ張ることにより第2封止シート4部分を

袋類7より剥離し、袋類7の蓋8を再開放することができることになる。又、第2封止シート4部分を袋類7に押し付けることにより剥離型接着剤5又は粘着剤で再封止することができることになる。

【0006】

【実施例】図1(A)～(D)は本発明方法の1実施例の説明図である。図2は本実施方法により封止された袋類の1例を示す断面図である。本実施方法は、第1封止シート1の一面に永久型接着剤2を固着し、その中央部を除く両端面に離型紙3A, 3Bを付着し、同中央部には第2封止シート4の一面を剥離不能に取着し、第2封止シート4の他面に剥離型接着剤5を固着し、これに離型紙6を付着してなる封止シート(図1(A)参照)を使用する。袋類7の蓋8に、一方の離型紙3Aを剥がして第1封止シート1の一端面を永久型接着剤2で剥離不能に固着し、袋類7に、離型紙6を剥がして第2封止シート4の他面を剥離型接着剤5で剥離可能に添着し、第1封止シート1の端部を内側に折返し永久型接着剤2で添着してツマミ部9とする。

【0007】本実施方法は上記のような構成であるから、ツマミ部9を引っ張ることにより第2封止シート4部分を袋類7より剥離し、袋類7の蓋8を再開放することができることになる。又、第2封止シート4部分を袋類7に押し付けることにより剥離型接着剤5で再封止することができることになる。本発明では実施例のように第1封止シート1の一面全部に、永久型接着剤2を固着するのではなく、一面端部を残して非接着のツマミ部9としてもよい。又、ツマミ部9の表面に会社のマーク等を付してもよい。

【0008】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、第1封止シート1の一面に永久型接着剤2又は粘着剤を固着し、その中央部を除く両端面に離型紙3A, 3Bを付着し、同中央部には第2封止シート4の一面を剥離不能に取着し、第2封止シート4の他面に剥離型接着剤5又は粘着剤を固着し、これに離型紙6を付着してなる封止シートを使用し、袋類7の蓋8に、一方の離型紙3Aを剥がして第1封止シート1の一端面を永久型接着剤2又は粘着剤で剥離不能に固着し、袋類7に、離型紙6を剥がして第2封止シート4の他面を剥離型接着剤5又は粘着剤で剥離可能に添着し、第1封止シート1の端部を非接着のツマミ部9とすることを特徴とする袋類の封止方法であるから、ツマミ部9を引っ張ることにより第2封止シート4部分を袋類7より剥離し、袋類7の蓋8を再開放することができ、又、第2封止シート4部分を袋類7に押し付けることにより剥離型接着剤5又は粘着剤で再封止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(A)～(D)は本発明方法の1実施例の説明図である。

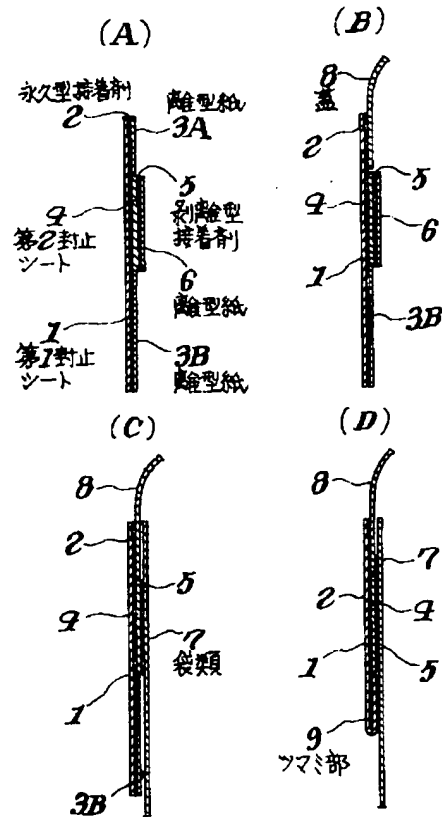
【図2】本実施方法により封止された袋類の1例を示す断面図である。

【符号の説明】

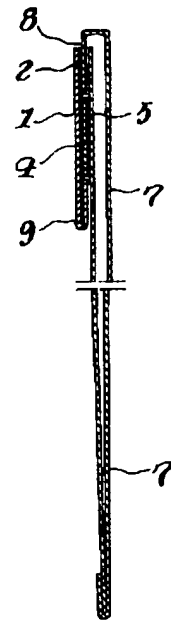
- 1 第1封止シート
2 永久型接着剤
3A 離型紙
3B 離型紙

- 4 第2封止シート
5 剥離型接着剤
6 離型紙
7 袋類
8 蓋
9 ツマミ部

【図1】



【図2】



THIS PAGE BLANK (USPTO)